



プレスリリース

ハンガリー・パビリオン、来場者数100万人を突破！

連日長蛇の列、満席の公演で大盛況

大阪、2025年9月30日 – 2025年大阪・関西万博に出展中のハンガリー・パビリオンは、ついに累計来場者数100万人を達成しました。豊かな文化、伝統音楽、多彩な食文化を紹介するプログラムを通じ、世界中から訪れる人々にハンガリーの魅力を発信しています。その人気の背景には、独創的な建築デザインと没入感のある展示空間があります。

ドーム型の展示空間では、満天の星空を思わせる幻想的な空間の中で、毎日43回にわたりハンガリー民謡がライブ演奏されています。万博会期184日間で、計21人の女性歌手が出演。さらに、ジャズからクラシックまで幅広いジャンルのアーティストが登場し、ハンガリー音楽の奥深さを届けています。エキスポホールではこれまでに6回の大型コンサートが開催され、いずれも満席（各回2000人規模）となりました。小規模ステージでも、開演の1時間前からすでに観客でいっぱいになり、ハンガリー文化への変わらぬ熱意が示されています。

ハンガリーの手工芸の伝統も大きな注目を集めています。22週間にわたり、11の職人技がハンガリーパビリオンで紹介されます。隔週で内容が変わるワークショップでは、来場者はハンガリーの手工芸の世界を覗くだけでなく、自分の手で作った作品を持ち帰ることもできます。席はたいてい朝のうちに埋まり、何度も足を運ぶリピーターも多いです。



ハンガリーの食文化も大きな人気を集めています。ビストロスタイルのMiska Kitchen & Barで提供されるメニューは万博の中でも屈指の充実度を誇り、これほど豊かで多彩な食のメニューをそろえているパビリオンはごくわずかです。69席のレストランには毎日およそ250名の来場者が訪れ、特にグヤーシュスープやホルトバージ風肉入りクレープが好評です。

万博の6か月間を通じて、ハンガリー・パビリオン3階のコミュニティセンターで開催されるビジネス・文化・外交イベントは、ハンガリーと日本の関係、そしてパートナー間の対話を着実に深め続けています。

「この100万人という数字は、私たちにとって単なるデータではなく、大きな反響の証です。ハンガリーの文化、民族音楽、そして食文化に対する関心が世界中で高まっていることを示しています。ハンガリー・パビリオンの成功は、我が国の価値が世界に通じることを物語っています。特に嬉しいのは、2024年同時期と比べ、今年第3四半期に日本を訪れる日本人旅行者の数が16%増加したことです。大阪でのパビリオンの成功が、今後さらにその流れを後押ししてくれることを期待しています」とクリシュト・アコシュ、ハンガリー政府代表が強調しました。

ハンガリー・パビリオンへの高い注目は、ハンガリーがその豊かな伝統にふさわしい姿で2025年大阪・関西万博に存在感を示している証といえます。